

熊本大学大学院法曹養成研究科
平成27年度第2期募集 法律科目試験問題

刑事訴訟法

平成26年10月26日(日) 10:55~11:40

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は1枚です。
3. 解答用紙には、熊本大学大学院法曹養成研究科の受験番号のみを記入し、氏名は記入しないで下さい。
4. 解答は横書きにして、2枚の解答用紙(裏面も使用)に収めて下さい。解答用紙の追加・交換はしません。
5. 解答にはボールペンまたは鉛筆を使用して下さい。
6. 問題の内容に関する質問には応じません。
7. 貸与した六法に書き込みをしてはいけません。
8. 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は持ち帰って下さい。

【問題】以下の事例を読んで、問いに答えなさい。（配点：40点）

警察官 A らは、覚せい剤密売の嫌疑で B 会社に対する内偵捜査を進めていたところ、B 会社の関係者 C が暴力団関係者 D から宅配便により覚せい剤を仕入れている疑いが生じたため、B 会社 C 宛の宅配便荷物の配達状況等について、宅配便業者の E 営業所に照会をした。その結果、短期間のうちに多数の宅配便荷物が B 会社の C に D から届けられていることが判明した。

そこで A らは、E 営業所所長に協力を求め、同意を得て、およそ 1 ヶ月間、6 回にわたり、D から B 会社 C 宛に配達される予定の宅配便荷物すべてを E 営業所から借り受けて、内容物の特徴によっては相当程度特定可能なエックス線検査装置により検査を行った。1 回目の検査では、衣類様の物の射影を判別できたが、覚せい剤とおぼしきものは発見されなかった。2 回目以降の検査では、細かい固形物がぎっしりと均等に詰められている長方形の袋の射影が観察された。検査の後、各荷物は E 営業所に返還されて、通常の運送過程に戻り、B 会社 C に配達された。

この警察官 A らの捜査方法の適法性について論じなさい。

以上